

◎ 定例会 「社会見学」 7月8日(木)くもり時々雨 参加者10名

～梅雨空の下、王子周辺の名所旧跡博物館を巡りました！～

※※実施日※※

当初7月1日予定でしたが、前日の天気予報が大雨の为一週間延期して、7月8日予報が小雨でしたが開催を決断10名と少人数で曇り空の中探索スタートいたしました。

※※コースの選択理由※※

練馬区の主要河川、石神井川の下流探索にある王子を歴史的な焦点を当て幹事全員一致決定する。

※※吊り橋※※

吊り橋を下見中、偶然通りがかったご婦人の二代前の当主が私費で作成された事が解り石神井川氾濫時に流され再建築などをされておりましたが、河川改修で三日月湖状の部分が、本流から離されましたが吊り橋は現在「北区立音無さくら緑地」として区が管理現在に至りました。



※※王子神社※※

王子神社は室町時代に豊島氏が紀州熊野三社権現から王子大神を若一王子宮として祀られ王子という地名となりました、江戸時代に入ると徳川家康が社領として二百石を寄進しました。その後3名の将軍が社殿の造営修繕を致しました。

明治元年准勅祭社として東京北方の守護とされました。

※※王子稻荷※※

王子稻荷は落語で『王子の狐』で有名ですが新春に関八州の狐が集合したことから初午の日(2月初旬)は縁日が行われ凧を売る市が立ちました。

※※神仏合体※※

王子神社・王子稻荷を含む17社を包括する金輪寺が統括しましたが明治元年神仏分離令により分割されました。

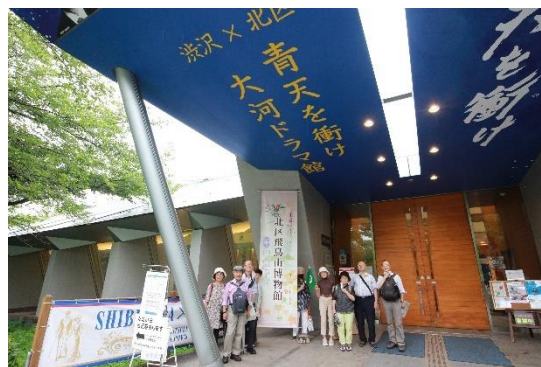
※※飛鳥山※※

八代将軍吉宗は紀州出身であったため紀州ゆかりの王子をたびたび訪れ飛鳥山に桜を植樹寄進して江戸庶民の行楽の地と致しました。

※※**渋沢栄一**※※

500もの会社を作った渋沢栄一は洋紙の必要性を感じ石神井川の清廉な水を利用して王子に洋紙工場を開き、飛鳥山に住居を構え民間外交を行い昭和6年（91歳）当地で没しました。

彼の自宅横に23区初の、NHK大河館『青天を衝け』が「飛鳥山博物館」内に開場致しました。



自走式モノレール「アスカルゴ」

※※**まとめ**※※

少人数10名での開催でしたが、小雨が混じる中臨機応変に見学ルート変更（名主の滝⇒倒木で閉館）やファミレスから寿司屋（春鮨）への変更等充実した一日を過ごすことが出来ました。



春鮨のランチ 美味しかったです！

報告：比与森賢実